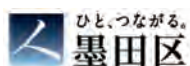




2023 年度 活動報告書〔概要版〕



「隅田川 森羅万象 墨に夢」とは

「隅田川 森羅万象 墨に夢」(通称:すみゆめ)は、すみだ北斎美術館の開館を機に 2016 年にスタートしたアートプロジェクトです。森羅万象を追い求めた葛飾北斎が 90 年の生涯を過ごしたすみだの地で、墨で描いた小さな夢をさまざまな人たちの手で色づけしていくように、芸術文化に限らず、あらゆる表現を行っている人たちがつながりながら、この地を賑やかに彩っていくことを目指しています。

「隅田川」と「北斎」を主なテーマに、すみだの地域資源を活用する企画を募り、河川空間や公園、店舗や公共施設など、さまざまな場所で多彩な活動を展開してきました。また、情報交換や交流の場としての「寄合」を毎月行うことで、人的ネットワークを形成し、連携による活動も促しています。

8 年目となる「すみゆめ」では、隅田川の歴史や物語、北斎を取材してつくられた舞台芸術や、まちをリサーチし、地域の記憶や景色から生まれた音楽やパフォーマンスなど、すみだならではの内容を深める企画を多く実現しました。公演や展示にとどまらず、まちを歩きながら体験する作品や、公共空間での交流を促すようなプロジェクトも行われています。また参加団体が相互に協働したり、異なる分野のアーティストによる新作の試みがあるなど、これまでの蓄積が活かされたものと思われまます。主催企画 2 件、公募によるプロジェクト企画 13 件、広報連携によるネットワーク企画 8 件の成果についてご報告します。

【実施体制】 主催:「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会、墨田区
協賛: 株式会社東京鋳兼、東武鉄道株式会社
助成: 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
[地域芸術文化活動応援助成]
(KOSUGE1-16「どんどこ! 巨大紙相撲〜北斎すみゆめ場所」)
一般社団法人 MAM
(隅田川 百歳の瀬 | ももとせのせ「すみゆめ踊行列」)
メディア・パートナー: J-WAVE 81.3FM
事務局: 公益財団法人墨田区文化振興財団

【期 間】 2023 年 9 月 1 日(金)〜12 月 24 日(日)

【会 場】 隅田川テラス、隅田公園そよ風ひろば、すみだ生涯学習センター(ユートリヤ)、すみだパークギャラリーささや、すみだ北斎美術館、すみだリバーサイドホール、牛嶋神社、ウラダナ、大川硝子工業所、ORI TOKYO、喫茶ランドリー、きらきら会館、弘福寺、小梅橋船着場付近、たもんじ交流農園、千葉大学墨田サテライトキャンパス、東駒形コミュニティ会館、北條工務店となり、本所地域プラザ BIGSHIP、向島百花園、やひろ食堂、油田カフェ、両国門天ホール、Rhythm and Betterpress ほかに区内各所

【参加団体】 プロジェクト企画: 13 団体、ネットワーク企画: 8 団体

【来場者数】 延べ 70,751 名

【視聴回数】 延べ 3,906 回 ※2024 年 1 月 31 日現在、ウェブ等の閲覧数は除く

「隅田川 森羅万象 墨に夢」2023 年度活動報告会

【日 時】 2024 年 2 月 23 日(金・祝)15:00～18:00

【会 場】 すみだリバーサイドホール・イベントホール

【タイムテーブル】

15:00～15:15 実施概要／主催企画の活動報告

「隅田川 森羅万象 墨に夢」実施概要

「隅田川 百歳の瀬 | ももとせのせ」

KOSUGE1-16「どこどこ！巨大紙相撲～北斎すみゆめ場所」

15:15～16:10 プロジェクト企画の活動報告(13 団体)

活動団体名	企画名
AGAXART	北斎漫画舞踏「おどる湯」
明暮れ小唄	北斎小唄 其の参 両国心中
NPO 法人アート・アンド・ソサイエティ研究センター	気候アクション SUMIDA—川辺から、詩と映像によるメッセージ
植村真	向こうの島
小林企画	隅田川文学散歩
さんぽチーム (野木青依×MC.sirafu×宮崎有里)	すみだのかたち
すみだパーク演劇部 扉座大人サテライト	夢劇アンソロジー『イースト・すみだ・ストーリー5～作品探しの校外学習 2023～』
タミノータ・プロジェクト	すみだタミノータ ～音楽時間旅行～
taior made for P	PING PONG PLATZ
一般社団法人 Token	Culture Dish
林家あんこ事務局	絵師はつらいよ 北斎卅落語
MYAA	letterpool/レタープール
一般社団法人もんでん	ストリートピアノすみだ川 2023

16:10～16:20 ゲストコメント

大内伸輔(公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

事業部事業調整課 事業調整係 係長)

小澤慶介(アート代表、インディペンデント・キュレーター)

佐藤慎也(日本大学理工学部建築学科 教授)

久野敦子(公益財団法人セゾン文化財団 常務理事)

16:30～18:00 オープンミーティング

テーマ①「アートが他領域でできること、すみだでの実践から」

ゲスト 清宮陵一(NPO 法人トッピングイースト)

三田大介(有限会社モアナ企画／すみだクリエイターズクラブ)

テーマ②「新しいことの面白さと難しさをどう評価するか」

1 隅田川 百歳の瀬 | ももとせのせ

団体名「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会

■企画概要/実施内容

関東大震災から 100 年を迎えた今年、著しい被災の記憶を留めるすみだの地で、鎮魂と再生をテーマに「隅田川 百歳の瀬 | ももとせのせ」と題する企画を実施、二つのプログラムを展開しました。

震災復興により整備された隅田公園、そよ風ひろばを舞台として、鎮魂の意を込めた踊りを捧げる「すみゆめ踊行列」では、多彩な歌手と演奏家による生演奏盆踊りを開催。耳なじみある唄の数々やオリジナルの音頭にあわせて、櫓を中心に幾重にも踊りの輪が広がりました。地元町会の獅子舞や纏振り・木遣りのほか、江戸時代から 300 年以上続く佃島の盆踊や、郡上おどり／白鳥おどりのお囃子演奏グループなど幅広い出演者を迎え、共に踊ったり、哀悼の舞に心を添わせつつ過ごせる場を設けました。

隣接する牛嶋神社では、北斎が疫病退散を祈念して絵馬を奉納したことに因み、アーティストの水川千春が隅田川の水で描いたあぶり出し絵《天宇受売命再生乃図》を制作、神楽殿に展示しました。魂を揺さぶる踊りで天照大神を誘い出したアメノウズメノミコが芸能と鎮魂の神であることから、災厄からの再生を願うものです。展示初日にはライブあぶりパフォーマンスを行い、火にあぶられて絵が現れる瞬間を観客と共有し、作品に込めた思いを伝える機会となりました。

【すみゆめ踊行列】



実施日	①踊り練習 10月9日(月・祝)、21日(土) 17:30～21:00
	②本番 10月28日(土)14:00～20:00
会場	①すみだリバーサイドホール・イベントホール
	②隅田公園そよ風ひろば
参加者数	①延べ 156 名
	②約 4,000 名

プロデュース: 岸野雄一(スタディスト)

出演: こでらんに～ with アズマリ(from Ethiopia)、ジンタラムータ with 久下恵生、モノガタリ宇宙の会、モノラルミニプラグ、パピポズ with プリンス王子(ミックスナッツハウス)、ネオン音頭チーム(珍盤亭音楽師匠+サイバーおかん)、明暮れ小唄、江戸消防記念会 第六区六番組、小梅一丁目町会 寿獅子、佃島盆踊保存会、お囃子演奏グループ 踊月夜

歌手: 井手健介、片岡シン、さとうじゅんこ、外山恵理、フレディ塚本、町あかり(太鼓: 江橋恒規)、向島栄翠、みのミュージック、butaji、mmm

踊り: 墨田区民踊連盟、にゃんとこ、茄子乃介踊りチーム、社中の方々、櫓に集う全ての人々

MC: 山口屋左七

【天宇受売命再生乃図～2つの絵馬のあいだで踊る～】



実施日	①展示 10月22日(日)～28日(土) 9:30～16:30
	②ライブあぶりパフォーマンス 10月22日(日)14:00／15:00
会場	牛嶋神社神楽殿
参加者数	①約 1,000 名
	②延べ 122 名

アーティスト: 水川千春

ライブあぶりパフォーマンス出演: 四倉由公彦(音楽、サウンドアート、郷土芸能愛好家)

2 KOSUGE1-16「どんどこ！巨大紙相撲～北斎すみゆめ場所」



団体名 「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会

①巡業:11月12日(日)、18日(土)、
19日(日)、23日(木・祝)
13:00～14:20/15:00～16:20

実施日 ②本場所:12月3日(日)
13:30～17:00

③力士展示:
1月14日(日)～28日(日)

会場 ①東駒形コミュニティ会館体育室、
北條工務店となり、すみだ北斎美
術館 MARUGEN100(講座室)、き
らきら会館

②すみだリバーサイドホール・イベント
ホール

③両国国技館

参加者数 ①187名
②293名
YouTube ライブ視聴:657件

③約25,000人

■企画概要/実施内容

今年で5回目となる「どんどこ！巨大紙相撲」。区内4カ所(東駒形、東向島、亀沢、キラキラ橋)に設けた「部屋」で「巡業」と称するワークショップを行い、親子連れや友達同士のチームが集まって、高さ180×幅90cmのダンボール2枚で本物サイズの力士を制作しました。事前にどのような力士をつくるかアイデアを出し合い、四股名や得意技もユニークな巨大力士が32体、誕生しました。

「本場所」は会場に力士制作チームを迎えて、皆で土俵をたたきながらトーナメント方式で取組を進行、事前に「力士名鑑」をWEB公開して、人気投票や優勝力士予想を募りました。運営には相撲関係者の協力を得て親方が解説を務め、呼出が太鼓を披露し、相撲甚句や弓取式の実演も交えて、すみだに息づく相撲文化を紹介。さらに地元企業や団体がタニマチとなり、すべての力士の健闘を称えて懸賞品を授与するなど、地域ぐるみで関わり、盛り立てる場となりました。またオンラインによる「電子どんどこ！」も用い、遠隔での応援や、地方からの友情出演によるエキシビションマッチを実現。YouTubeライブ配信とアーカイブで、すみだならではの「どんどこ！巨大紙相撲」の楽しさを広く伝えました。

※大相撲一月場所(2024/1/14～28)の期間、両国国技館の大広間に巨大紙相撲力士を展示し、本企画について紹介しました。

3 北斎漫画舞踏「おどる湯」



団体名	AGAXART
日程	①ワークショップ 9月6日、13日、20日、27日 18:30～20:30 ②創作過程一般公開 11月1日～7日 13:00～18:00 ③舞踏公演 11月10日 19:00～19:40 11日・12日 15:00～15:40/19:00～19:40 ④公演映像配信 11月24日～12月24日
会場	① すみだ生涯学習センター(ユートリヤ) ② 北條工務店となり ③ 北條工務店となり ④ 特設 Web サイト
参加者数	① 延べ 66 名 ② 約 40 名 ③ 187 名 ④ 30 名、視聴 123 回

■企画概要/実施内容

銭湯の客や『北斎漫画』に描かれている湯屋の人物画を元に舞踏作品「おどる湯」を制作。公演で使用する映像と音は電気湯で撮影・録音しました。ワークショップでは『北斎漫画』を元に体を動かしながら舞踏への理解を深め、参加者 12 名が公演に出演しました。舞踏を初めて見る方が多く、近隣の方、外国人観光客にも来場いただきました。また、公演の創作過程を公開したことで、近隣の方との交流や共同作業が生まれました。

■日頃の活動

舞踏の世界で 20 年以上のキャリアを持ち、数々の作品を国内外で発表している我妻恵美子によるプロジェクト。身体を通して言語化できない心と向きあい、多様性を認め合う場を創出することを目的とし、舞踏の身体操法を主軸とするワークショップ、公演、イベントを開催しています。また、フィールドワークから舞踏作品を生み出す創作手法を得意としています。

4 北斎小唄 其の参 両国心中



団体名	明暮れ小唄
日程	12月16日(土) 14:00 / 17:00
会場	すみだ生涯学習センター(ユートリヤ)
参加者数	来場者 230 名 ショート動画視聴 183 回 公演ダイジェスト動画視聴 257 回

■企画概要/実施内容

「北斎小唄」は、葛飾北斎の名作をスクリーンに映写しながら小唄や三味線音楽を楽しむ公演です。今回は、共演に人形浄瑠璃文楽の文楽人形遣いの吉田玉勢と吉田簑紫郎を迎えました。脚本・演出を大和田文雄元国立劇場理事に依頼し、「両国心中」のタイトルで本格的な芝居を創作。24 点の北斎作品を舞台背景及び登場人物として映写しました。噺家の柳家緑太が物語を進行し、小唄は全 21 曲を演奏。囃子は福原千鶴社中が担当しました。

■日頃の活動

小唄演奏家・千紫巳恵佳と小唄幸三希によるユニット。伝統邦楽「小唄」の演奏活動を通じて、小唄の普及と伝承に関する活動を行っています。様々な伝統邦楽のエッセンスが凝縮された小唄の特徴とともに、伝統的建築物や伝統美術も活用し、舞台芸術としての新たな可能性を模索しています。

5 気候アクション SUMIDA—川辺から、詩と映像によるメッセージ



団体名	NPO 法人アート・アンド・ソサイエティ 研究センター
日程	①10月7日(土)15:00～20:00 8日(日)11:00～20:00 ②9日(月・祝)11:00～15:00
会場	①小梅橋船着場付近 ②オンライン(雨天のため)
参加者数	①来場者 1,760 人 ②コンテンツ視聴 434 回

■企画概要/実施内容

川や水、地球環境や気候変動に関する詩を公募し、北十間川の船着場付近で展示、プロジェクション、朗読によって発信しました。また、千葉大学の大学院生 60 名が会場演出計画に取り組み、そこからの提案をベースに、大規模水害の危険性を象徴するゴムボートを地上約 3m に持ち上げるインスタレーションをイベント会場の中心としました。活動の締めくくりとして、冊子「詩集+プロジェクト・レポート」を制作しました。

■日頃の活動

公共空間でのアートプロジェクトやソーシャリー・エンゲージド・アートに関する書籍の出版、展覧会の開催などを通じて、地域社会や人々に深く関わる国内外の芸術活動を調査・研究・記録し、国内の芸術実践を支援しています。

6 向こうの島



団体名	植村真
日程	10月5日(木)～8日(日)
会場	墨田区内各所 (向島百花園～ウラダナ)
参加者数	来場者 85 名 関連動画視聴 1,882 回

■企画概要/実施内容

冊子の地図と写真等の案内を見ながら、夜の向島地区をその土地の歴史や記憶を辿りながら、鑑賞者が一人で歩くパフォーマンス。始点となる向島百花園では水を使った導入、途中には水にまつわる案内人があるなど、テーマとなる「水」とリンクし、ウラダナでは震災や戦災への祈りを込めたパフォーマンスやインスタレーションを展開しました。

■日頃の活動

演出家 / 美術家 / 照明デザイナー。現代美術や舞台演出の活動の他、演劇、ダンス、演奏会等の演出や照明デザイン、映像プロジェクション、グラフィックデザイン、企画制作等で幅広く活動しています。サイトスペシフィックなツアー・パフォーマンスなどを通して観客の能動化・ナラティブ性、観客と舞台、社会と芸術の関係について考える作品を発表し、国内外のアーティストと領域を問わず協働を行っています。

7 隅田川文学散歩



団体名	小林企画
日程	①オーディオガイド試聴 12月3日～24日 ②ガイドツアー 12月3日、9日、10日、16日、17日 ③トークイベント 12月17日 13:30～15:30
会場	①オンライン ②墨田区玉ノ井、曳舟、押上 ③オンライン
参加者数	①934回 ②38名

■企画概要/実施内容

「すみだに縁のある文豪の文学作品のリーディング」と「現代のすみだの都市景観」をミックスしたオーディオガイドを作成しました。作品に関連したスポットを訪ね、その場所に関するオーディオガイドを聞くことで、見なれた都市の景色に新しい感覚を持ち込む試みです。また、『都市と川とアートプロジェクト』と題するトークイベントでは、すみゆめ、Klang River Festival(マレーシア)とともに都市河川におけるアートプロジェクトとしての現状認識と課題について、オンライントークを行いました。

■日頃の活動

土地のオーディオガイドを手に現地を遊歩することで、参加者が「視覚/現在」と「聴覚/過去」の世界が交錯する体験することで、我々の身体に「いま、ここ」への気付きを再構築し、土地に息づく見えざる芸術/文化から、身体と土地とものの結びつきに気づくことを表現として目指しています。

8 すみだのかたち



団体名	さんぽチーム
日程	①すみだのかたち さんぽとライブ 9月2日(土)・9日(土) 14:00～17:00 ②すみだのかたち 11月26日(日) 12:00～20:00
会場	①八広駅～油田カフェ 菊川駅～Rhythm and Better Press ②すみだパークギャラリーささや
参加者数	①13名、16名、②延べ 350名

■企画概要/実施内容

マリンバ奏者・野木青依とスティールパン奏者・MC.sirafu が、まちを散歩しながら見つけたもの、偶然の出会い、感じたことから着想を得て即興演奏を試みるプロジェクト。「さんぽとライブ」では、参加者と一緒に気になる風景を写真に収めながら散歩し、最後に、写真の特徴や撮影者のコメントから野木と MC.sirafu が着想を得て即興演奏をしました。「すみだのかたち」では、「さんぽとライブ」で撮られた写真に野木と MC.sirafu が演奏した楽譜などを書き込んだものを展示しました。また、ゲストアーティストの小野龍一(ピアノ)、木村玲奈(おどり)、田上碧(ヴォーカリスト)、やけのはら(音楽家)とともに即興パフォーマンスを行いました。

■日頃の活動

マリンバ奏者・野木青依、スティールパン奏者・MC.sirafu、アートマネージャー・宮崎有里によるチームです。2021 年度すみゆめプロジェクト企画「マリンバさんのお引越し」で、喫茶ランドリーにて野木青依と MC.sirafu が即興セッションをしたことがきっかけで結成されました。日常の中に音楽が入っていくような企画を行っています。

9 夢劇アンソロジー

『イースト・すみだ・ストーリー5～作品探しの校外学習 2023～』



団体名	すみだパーク演劇部 扉座大人サテライト
日程	9月7日(木)19:00 8日(金)14:00 / 19:00 9日(土)13:00 / 18:00 10日(日)14:00
会場	すみだパークギャラリーささや
参加者数	出演者 27 名、来場者 491 名

■企画概要/実施内容

隅田川界隈に江戸時代から現代にちりばめられてきた歴史的な出来事や、隅田川、すみだにまつわる地域性に富んだ短篇劇をオムニバス形式によって上演。今回は、新作 9 作品と過去作をブラッシュアップした 1 作品を上演しました。より作品の地域性を高めるため、物語に関連する場所を取材して動画に収め、作品とからめて舞台上で上映しました。また、他のプロジェクト企画参加団体(さんぽチーム)とコラボレーションし、開場から開演までの 20 分間、舞台上で演奏をしてもらいました。

■日頃の活動

2019 年 4 月発足。スーパー歌舞伎 II「ワンピース」等を手がける劇作家・横内謙介率いる劇団扉座と、墨田区内の演劇のリハースタジオとして 25 年以上の歴史を持つすみだパークスタジオ(ベルモック)がコラボし、「大人の部活動」をコンセプトに、50 歳以上の大人を対象に演劇のワークショップを開催し、舞台公演を上演しています。

10 すみだタミノータ ～音楽時間旅行～



団体名	タミノータ・プロジェクト
日程	12月24日(日)16:00～18:30
会場	すみだ生涯学習センター(ユートリヤ)
参加者数	76 名

■企画概要/実施内容

中世、近世、近代、現代、未来へと日本の民のうた(タミノータ)の旋律の変化をたどるプログラム。昨年、梅若伝説を現代的に翻案して制作した盆踊り唄・江州音頭「隅田川」により親しんでいただくため、江州音頭のルーツのひとつでもある万歳、さらに時代を遡り、中世の今様、催馬楽や、謡曲「隅田川」を実演。次に時代を下ってガットギター弾き語りによるポップソングを実演しました。最後に、テクノ江州音頭「隅田川」によるディスコタイムを設けました。

■日頃の活動

日常のくらしや文化の中にある先人の知恵や工夫に関心を持ち、地域のくらしの道具や芸能についての聞き書きや実践を通して、文化を未来につなげることを目指して活動しています。東京にて、関西の盆踊り唄・江州音頭を研究するモノガタリ宇宙の会に加入。地域で起こったことを詠みあげてゆく口説き形式の盆踊りが現代の地域社会で潤滑油となる可能性を模索しています。

11 PING PONG PLATZ



団体名	taylor made for P
日程	9月15～17日、23日、10月1～8日、28日 11月3日、23日、12月3日
会場	キャンパスコモンすみだ、こっとピット、曳舟 なごみ広場、東京ミズマチ内高架下貫通路、 隅田公園そよ風ひろば、大川硝子工業所
参加者数	約1,500名

■企画概要/実施内容

「誰でも遊べるスペースに屋外卓球台が常にあること」を目指した第一歩として、一時的にピンポン台を外に持ち出し、みんなが自由に使って体感できるポップアップイベントを複数の場所で開催。併せて、千葉大学と協働し、子どものためのピンポン台を制作するワークショップや、北斎の「悪玉踊り」から着想したパフォーマンス(出演:ぞうとまめ、小畑亮吾)も開催しました。最終日には、全ての実施回の成果展示とオープンミーティングを行いました。

■日頃の活動

地域住民一人ひとりが社会課題(地域課題/私的なローカル課題)を自分ごととして考えられるようにするため、「共に」考えるための場づくりを「楽しく」行うことがモットーです。墨田区内で、誰でもいつでも使える屋外ピンポン台の常設を目指し、イタリア人アーティストのジャコモ・ザガネッリ&シルビア・ピアンティーニと地域住民が協働しています。

12 Culture Dish



団体名	一般社団法人 Token
日程	①摂取: 柴田祐輔「大衆割烹 代替屋」 12月3日(日)12:00～14:00 / 17:00～19:00 / 19:30～21:30 ②消化: 茶酔「流流点点」 12月10日(日)13:00～16:00 ③排泄: 伊沢正名「まちなか培養」 12月16日(土)13:00～16:00
会場	①やひろ食堂 ②黄檗宗 牛頭山 弘福寺 ③たもんじ交流農園
参加者数	①30名 ②20名 ③8名

■企画概要/実施内容

食のプロセス(摂取、消化、排泄)をテーマに体験型のパフォーマンス、レクチャー、フィールドワークをすみだの街中で展開。「摂取」では、アーティストの柴田祐輔が隅田川流域で採れた素材で料理を提供し、参加者が実際に飲食できるイベントを行いました。「消化」では、茶文化コミュニティ「茶酔」が、隅田川の源流から河口までに想像を巡らせながらお茶酔いを体験できるイベントを開催しました。「排泄」では、糞土師・伊沢正名が、自然の力で生活を送る実践に関するレクチャーやまちなかの生命の循環や生態系を探るフィールドワークを行いました。

■日頃の活動

国内外で活動する美術家に製作の場と、市民に開かれた発信の場を提供することを目的に活動しています。2019年にオープンした Token Art Center では、現代アートの分野で活動する新進気鋭の作家の展覧会を定期的で開催しています。

13 絵師はつらいよ 北斎卅落語



団体名	林家あんこ事務局
日程	①プレ公演 11月2日(木)19:15～20:00 ②本公演 11月5日(日) 一部14:00～15:00 / 二部16:00～17:00
会場	①ORI TOKYO ②すみだ北斎美術館 MARUGEN100 (講座室)
参加者数	①21名 ②54名

■企画概要/実施内容

プレ公演「北斎とトークとコーヒー」では、北斎の『富嶽三十六景』を鑑賞しながら、北斎にまつわる落語の解説や、デザイナーの木村吉見をゲストにむかえ、現代の絵師・イラストレーターの苦労や楽しみに関するトークを、落語家・林家あんこがナビゲートしました。本公演「北斎漫談と古典落語」では、前座・林家たたみが古典落語「ろくろ首」「子ほめ」を、林家あんこが北斎に関する漫談や絵師にまつわる古典落語「目黒のさんま」「化物使い」と自作落語「北斎の娘」を北斎の絵をスクリーンに投影しながら公演しました。

■日頃の活動

落語家ニツ目・林家あんこによる団体。主に墨田区内にて定期的に落語会や寄席を開催し、伝統文化の伝承と普及、後輩の育成を目的として活動しています。

14 letterpool/レタープール



団体名	MYAA
日程	11月17日(金)～12月24日(日)
会場	申込者の指定の場所(※手紙が届く) 東京都墨田区内各所、Youtube
参加者数	来場者 103名 視聴 366回

■企画概要/実施内容

歌舞伎「隅田川物」の代表作・河竹黙阿弥『都鳥廓白浪』の舞台を現代に移し、鑑賞者の手元に、物語の登場人物から手紙が届く体験型演劇作品を発表しました。鑑賞者は手紙に記載されている指定の日時と場所に居合わせることで、登場人物が滞在している様子(上演)を鑑賞できます。上演は Youtube にアップロードされ、映像上で鑑賞することも可能。住む場所に左右されず、広く楽しめるよう設計を試みました。

■日頃の活動

劇作家・演出家の柳生二千翔と三浦雨林がコラボレーションし、演劇的手法をもちいた作品を発表するユニット。滞在製作・リサーチを行う中で、現代の人間の生活を主題とした作品を発表してきた両者が、土地を媒介として有機的なコラボレーションをもとにひとりの視点では辿り着けない、深い階層で人間を描く作品を創作、発表していきます。

15 ストリートピアノすみだ川 2023



団体名	一般社団法人もんでん
日程	11月3日(金・祝)、4日(土)
会場	隅田川テラス(東京水辺ライン 両国リバーセンター発着場付近)
参加者数	1,279名

■企画概要/実施内容

隅田川沿いにピアノを設置し、誰でも音楽に触れることができる場づくりを行いました。7年目となる今年は、この企画を市民皆の手で作上げる取り組みとして、ひもやシールで隅田川の生き物をつくる舞台美術づくりワークショップや、活動の運営を共に行う市民サポーター募集に挑戦しました。また、音楽大学の学生や若手音楽家によるチンドン隊が会場周辺を練り歩いてイベントを周知するなど、若手音楽家の活躍と研修の機会もつくりました。

■日頃の活動

「伝統と革新の共存」を基本理念に前身・門仲天井ホールにて活動を始め、2013年に両国に移転。現在に至るまで30年にわたり、ジャンルを問わない上演スペースとして、伝統芸能から、演劇、ダンス、実験音楽まで多彩な活動の舞台となり、国や世代を超えて、さまざまな人々が集う場となっています。

16 「北斎の娘」を聴く会



団体名 林家あんに事務局

日程 6月17日(土)

会場 すみだトリフォニーホール(小ホール)

参加者数 235名

■企画概要/実施内容

林家あんにが昨年創作した葛飾北斎の娘・応為を主人公とする落語「北斎の娘」を三部全編通して口演。また、柳家小菊による唄と三味線も披露しました。落語ファンのみならず、北斎に関心のある方やアートファンなど、新たな客層にもリーチできました。

17 すみだでらくご 第五回 林家あんに独演会



団体名 林家あんに事務局

日程 8月20日(日)

会場 本所地域プラザ BIGSHIP

参加者数 73名

■企画概要/実施内容

前座・林家たたみが古典落語「ろくろ首」を、ゲストの講談師・神田紅佳(墨田区在住)が国枝史郎原作の「北斎と幽霊」を口演。林家あんに自作の新作落語「北斎の娘 番外編～お栄とお駒～」と古典落語「青菜」を口演しました。

18 井上道義 ザ・ファイナル PART I 道義×小曾根×新日本フィル



団体名 公益財団法人墨田区文化振興財団
(すみだトリフォニーホール指定管理者)

日程 9月17日(日)15:00

会場 すみだトリフォニーホール(大ホール)

参加者数 1,680名

■企画概要/実施内容

2024 年末での指揮活動の引退を発表した井上道義のザ・ファイナル PART I 公演。共演歴も多い小曾根とのスリリングな丁々発止、そして、第2代音楽監督を務めるなど熱い絆で結ばれた新日本フィルとの集大成を披露しました。

19 北斎のまく笑いの種



団体名 すみだ北斎美術館

日程 9月20日(水)～11月26日(日)

会場 すみだ北斎美術館

参加者数 28,984名

■企画概要/実施内容

北斎や門人たちは多くの作品に「笑い」の描写を取り入れており、その表情は見事に描き分けられています。笑顔の描写やユーモアのある表現など、北斎と門人たちが描いた多様な「笑い」を紹介しました。

20 大江戸すみだ職人展



団体名 大江戸すみだ職人展実行委員会

日程 9月21日(木)～24日(日)

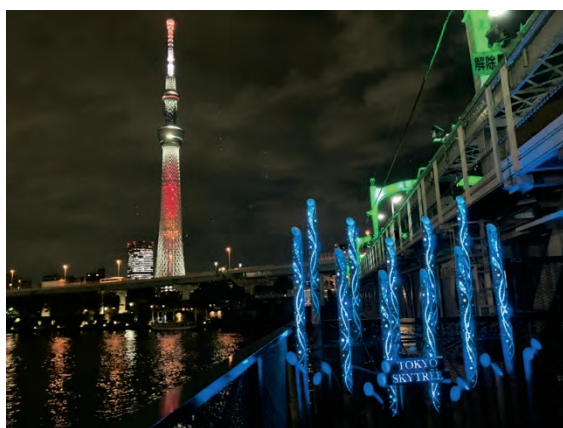
会場 すみだ北斎美術館 MARUGEN100(講座室)
緑町公園

出展職人 22名
参加者数 参加者 1,002名
工芸体験参加者 109名

■企画概要/実施内容

墨田区の職人による実演、工芸体験及び作品の展示、墨田区内の銘菓販売を行いました。すみだ北斎美術館との親和性の高い伝統工芸がテーマであることから外国人観光客に多く立ち寄っていただきました。

21 すみだリバーウォークと隅田公園 東京下町回遊 竹あかり



団体名 東武鉄道株式会社

日程 ①ライトアップ 11月9日～1月31日
②参加型ライトアップイベント
12月2日、3日 12:00 / 13:45 / 15:30

会場 ①隅田公園そよ風ひろば、すみだリバーウォーク、牛嶋神社、東京ミズマチ
②隅田公園そよ風ひろば

参加者数 ②210名

■企画概要/実施内容

浅草から押上にかけてのエリアを幻想的な竹あかりでライトアップ。また、墨田区内の小学生や訪日外国人観光客を主な対象に、「竹あかり」の総合プロデュース集団である「CHIKAKEN」と竹林観光で人気の施設「若竹の杜若山農場」によるワークショップを開催しました。

22 日本の伝統楽器体験教室～伝統芸能体験「日本のコトを知っていますか？」源氏物語に登場する三つの「コト」：箏、琵琶、一絃琴体験



団体名 一般社団法人もんでん

日程 2024 年 2 月 10 日(土)～25 日(日)

会場 両国門天ホール

参加者数 —

■企画概要/実施内容

源氏物語に登場する「コト」=箏、琵琶、琴(一絃琴)の 3 つの楽器をとりあげ、演奏体験会を開催しました。各プログラムとも、小学生～中学生を対象クラスと高校生対象クラスを設け、年齢相応の興味関心を考慮してプログラムを構成しました。

23 「すみだ川アートラウンド」～ARTs×SDGs でつながる隅田川流域の民間組織コレクティブ化構想



団体名 東京藝術大学 大学院
国際芸術創造研究科

日程 4 月 1 日(土)～2024 年 2 月 29 日(木)

会場 東京藝術大学千住キャンパス他

参加者数 延べ 320 名

■企画概要/実施内容

未来の「アラスミ・アーツカウンシル」の土台形成を目指し、アートマネジメント専門人材の育成の場として、ラウンドテーブル(アートによって SDGs に取り組む)、アートラウンド・プラクティス(地域課題に取り組むアートプログラムの開発)、アートラウンド・ハブ(文化芸術団体の公開ピアレビュー)に取り組みました。

